



2007年3月19日

～「ワールド・リート・セレクション(欧州)」を含む3銘柄～

投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社(代表取締役社長:楠 雄治、本社:東京都港区)は、3月19日(月)約定分より、投資信託3銘柄を取扱い銘柄に追加いたします。今回の追加により、弊社取扱い投資信託の銘柄数は69銘柄となります。

また、当社では1月29日(月)～4月27日(金)15:00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様の中から毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

背景と目的・狙い

不動産価格が上昇する中で、個人投資家向けの不動産証券化商品の販売が急増しています。個人向け投資信託に組み込まれた不動産投資信託(REIT)の総額は年々増加傾向にあります。小口の資金でも一定の利回りが見込めるミドルリスク・ミドルリターン型商品として、個人投資家の間で人気が広がっています。

当社では、お客様の多様なニーズにお応えすべく人気の高い商品のラインナップの充実を図ってまいります。

各投資信託の特徴について

「ワールド・リート・セレクション(欧州)」はヨーロッパの証券取引所および証券取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。ヨーロッパリート・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、ファミリーファンド方式で運用を行います。

(設定・運用 日本投信委託株式会社)

「アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)」は、アジア(日本を除く)・オセアニア地域の株式を実質的な主要投資対象とする「PCAアジア・オセアニア好配当株式ファンド(適格機関投資家専用)」及びわが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とする「日本マネー・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とします。

(設定・運用 日本投信委託株式会社)

「日本M&Aオープン」は、わが国の証券取引所上場株式を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。主として、M&Aにより企業価値を高めると判断される企業やM&Aの観点から企業価値に比べて株価が割安と判断される企業等の株式へ投資します。

(設定・運用 日本投信委託株式会社)